

平成 29 年度当初予算について

大野城市長 井本宗司



平成 29 年度の一般会計及び 5 つの特別会計、2 つの企業会計を合計した当初予算総額は、602 億 263 万 2 千円で、前年度に比べて 2.4%、13 億 9 千 734 万 8 千円の増となっております。このうち一般会計は、350 億 7 千万円で、前年度に比べて 2.7%、9 億 3 千 100 万円の増となり、平成 28 年度の 341 億 3 千 900 万円を超える過去最大の予算規模となりました。

平成 29 年度におきましては、「大野城心のふるさと館」の整備や公民館の再整備といった市民活動の拠点となる施設の整備を計画どおり進めるとともに、子どもや子育て、障がい者福祉サービスに関する各種支援策の拡充、有事に備えるための災害対策基金の設置など、将来への投資や脚下の課題に、積極的かつ戦略的に取り組んでまいります。

市民の皆さんからお預かりした貴重な税金を無駄にすることなく、次世代に負担や責任を先送りにしない「先手（せんて）・先取（せんしゅ）の対応」を基本に、大野城市の更なる飛躍の原動力となる“将来を見据えた個性あふれる政策の実行”、そして教育や福祉、安全安心といった“行政として当然担うべき責務の遂行”という 2 つの視点から、使命感を持って、責任ある市政運営に努めてまいります。

このパンフレットは、大野城市の平成 29 年度当初予算を市民の皆さんに分かりやすく紹介するために作成したものです。明日の大野城市を一緒に考えていくために、市政に対する理解を深める一助として活用していただければ幸いです。

各会計の予算総括

(単位：千円、%)

会 計 区 分	平成29年度 予 算 額	平成28年度 予 算 額	増減額	増減率	
① 一般会計	35,070,000	34,139,000	931,000	2.7	
② 国民健康保険特別会計	11,128,852	10,809,631	319,221	3.0	
③ 介護保険特別会計（保険事業勘定）	5,626,192	5,325,628	300,564	5.6	
④ 介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）	54,359	54,105	254	0.5	
⑤ 後期高齢者医療特別会計	1,256,486	1,128,804	127,682	11.3	
⑥ 公共用地先行取得事業特別会計	1	1	0	0.0	
⑦ 土地区画整理清算金特別会計	218	1,699	△ 1,481	△ 87.2	
小 計 (A)	53,136,108	51,458,868	1,677,240	3.3	
⑧ 水道事業会計	収入	2,474,268	2,450,813	23,455	1.0
	支出 (B)	3,082,394	3,144,639	△ 62,245	△ 2.0
⑨ 下水道事業会計	収入	3,407,369	3,665,557	△ 258,188	△ 7.0
	支出 (C)	3,984,130	4,201,777	△ 217,647	△ 5.2
全会計合計 (A) + (B) + (C)	60,202,632	58,805,284	1,397,348	2.4	

用語解説	予算 1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の計画です。予算を見れば、市民の皆さんが納める税金などが、どのような事業にいくら使われるのかが分かります。	特別会計 国民健康保険や介護保険のように特定の収入で、特定の事業を行う場合などに設ける会計です。大野城市には現在5会計(国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療、公共用地先行取得事業、土地区画整理清算金)があります。
	歳入・歳出 会計年度(4月から翌年3月までの期間)内の収入・支出のことです。	企業会計 民間企業のように、利用料金などの収益で運営している会計です。大野城市は現在2会計(水道事業、下水道事業)があります。
	一般会計 福祉や教育、道路整備など、行政の基本的な事業の会計(予算の中心)です。	